

市制施行 45 周年記念事業

城陽市ジュニア議会

報告書



城陽市・城陽市教育委員会・城陽市議会

目次

I	開催概要	1
II	市制施行45周年記念事業 城陽市ジュニア議会会議録	
1	ジュニア議会出席議員	2
2	ジュニア議会に出席した市職員	3
3	議事日程	4
4	奥田市長あいさつ	5
5	奥田市長によるジュニア議員紹介	6
6	増田市議会議長あいさつ	7
7	増田市議会議長によるジュニア議会議長・副議長の指名	8
8	ジュニア議長あいさつ・開会宣言	9
9	一般質問	
	(1) 三宅頼輝 議員	10
	(2) 奥村祐介 議員	12
	(3) 谷村希実 議員	15
	(4) 庄司瑞季 議員	17
	(5) 筑紫美月 議員	20
	(6) 鈴木嶺青 議員	23
	(7) 奥 悠愛 議員	25
	(8) 西村紅葉 議員	29
	(9) 奥 公汰 議員	31
	(10) 浅田九十九 議員	33
10	ジュニア議長閉会宣言	36
11	ジュニア副議長お礼のあいさつ	37
12	奥田市長閉会あいさつ	38
13	増田市議会議長閉会あいさつ	39
14	参考資料	40
III	事前学習会	41
IV	感想文	42

奥田敏晴市長・増田 貴市議会議長・井関 守教育長を囲んで



I 開催概要

1 趣旨

市民との対話によるまちづくりを進めるため開催している「城陽未来まちづくり会議」と位置付け、子どもたちの意見を聞く場とするとともに、城陽市の未来を担う子どもたちが、自分たちが住んでいる地域の課題を認識し、解決に取り組む姿勢を育み、まちづくりに対する関心を高めることを目的に実施する。

2 主催

城陽市・城陽市教育委員会・城陽市議会

3 日時・場所

平成 29 年 8 月 5 日(土)午後 1 時 30 分～4 時 00 分

城陽市議会議場

4 参加者

城陽市在住の小学生 11 名

5 スケジュール

市のまちづくりについて学習し、質問書作成などの事前学習の後、ジュニア議会本会議を行う。

○事前学習会 平成 29 年 7 月 8 日（土） 市役所 4 階第 2 会議室他

任命書の交付、市のまちづくりについて説明、質問書づくりなど

○ジュニア議会本会議 平成 29 年 8 月 5 日（土） 城陽市議会議場

6 募集方法

○学校長推薦による市立小学校 6 年生 10 名

○公募による私立小学校 6 年生 1 名

Ⅱ 市制施行 45 周年記念事業 城陽市ジュニア議会会議録

1 ジュニア議会出席議員（11 名）

きたがわ 北 川	こうき 皓 基	議 員
みやけ 三 宅	らいき 頼 輝	議 員
おくむら 奥 村	ゆうすけ 祐 介	議 員
たにむら 谷 村	のぞみ 希 実	議 員
しょうじ 庄 司	みずき 瑞 季	議 員
つくし 筑 紫	みづき 美 月	議 員
すずき 鈴 木	りょうせい 領 青	議 員
おく 奥	はるな 悠 愛	議 員
にしむら 西 村	ちみじ 紅 葉	議 員
おく 奥	こうた 公 汰	議 員
あさだ 浅 田	つくも 九十九	議 員

2 ジュニア議会に出席した市職員

市長	おくだ 奥 田	としはる 敏 晴
副市長	いまにし 今 西	なかお 仲 雄
副市長	ほんじょう 本 城	あきお 秋 男
教育長	いぜき 井 関	まもる 守
理事	あらか 荒 木	まさと 正 人
危機管理監	たがわ 田 川	かずちか 和 親
総務部長	かわい 河 合	かずひこ 寿 彦
市民環境部長	つない 綱 井	たかし 孝 司
福祉保健部長	よしむら 吉 村	ひでき 英 基
まちづくり活性部長	きたに 木 谷	かつみ 克 己
まちづくり活性部参事	こいけ 小 池	まなぶ 学
まちづくり活性部参事	とみやま 富 山	たかふみ 貴 史
都市整備部長	もりしま 森 島	まさひろ 正 泰
消防長	すみ 角	けいいちろう 馨一郎
公営企業管理者職務代理者	おおきた 大喜多	よしゆき 義 之
教育部長	やぶうち 数 内	こうじ 孝 次
議会事務局長	はぎはら 萩 原	ようじ 洋 次

3 議事日程

平成 29 年 8 月 5 日（土）午後 1 時 30 分

開会

奥田市長あいさつ、ジュニア議員紹介

増田市議会議長あいさつ、ジュニア議長・副議長指名

ジュニア議長あいさつ・開会宣言

一般質問

（１）三宅頼輝議員（古川小学校）

公園のボール遊び禁止ルールについて

（２）奥村祐介議員（寺田南小学校）

キャンプ場、温水プールなど家族で楽しめる施設の建設計画について

（３）谷村希実議員（青谷小学校）

街灯の配置について

（４）庄司瑞季議員（京都女子大学附属小学校）

災害時を想定した避難訓練や災害情報の収集方法について

（５）筑紫美月議員（久津川小学校）

城陽の自然の今後について

（６）鈴木嶺青議員（深谷小学校）

再生可能エネルギーを利用した発電の取り組みについて

（７）奥 悠愛議員（今池小学校）

①自然を守るための取り組みについて

②城陽の観光地を知ってもらうための取り組みについて

（８）西村紅葉議員（久世小学校）

観光地である古墳について

（９）奥 公汰議員（寺田西小学校）

交通安全について

（１０）浅田九十九議員（富野小学校）

温水プールの建設及び市民プールの新設について

ジュニア議長の閉会宣言

ジュニア副議長お礼のあいさつ

奥田市長閉会あいさつ

増田市議会議長閉会あいさつ

4 奥田市長あいさつ

皆さん、こんにちは。

城陽市長の奥田敏晴です。どうぞよろしくおねがいします。

今日は城陽の未来を担う、小学校 6 年生の皆さんがジュニア議会ということでここへ集まってくれました。

この場所。皆さんが座っているところは、城陽市議会の本会議場で、普段は議員さんが座っているところです。今日はみんなも議員やけども。普段はね大人の議員さんが座っています。



ジュニア議会を開催でき、皆さんと色々意見を交わせることを非常にうれしく思っているところです。

今日は皆さんからたくさんの質問や提案をいただくことになりますが、しっかりと受け止めて、答弁させていただきたいと思っています。

内容的に様々な分野があります。私が答えるときもあれば、教育長が答えるときもあるかと思いますが、城陽の自然や環境、あるいは観光や教育、交通安全について幅広いことについて皆さん興味があり、事前学習会や自分で調べてきたことを生かして質問づくりに取り組んでこられたことと思います。

城陽市としても、一生懸命質問づくりに取り組んでこられた、皆さんの率直な意見を聴かせていただいて、今後のまちづくりに生かしていきたいと思っています。

少し緊張しているかもしれないけれども、皆さんが凛として堂々と、意見を出していただけたらと思っています。

今日の経験は皆さんにとっても非常に思い出に残る、そして夏休みの貴重な体験になると思っています。どうぞこれをきっかけに、これからの城陽市のまちづくりにもっともっと関心を持っていただくことを期待しまして、あいさつとさせていただきます。

5 奥田市長によるジュニア議員紹介

それでは、私からジュニア議員の紹介をさせていただきます。

寺田小学校、北川皓基議員。

古川小学校、三宅頼輝議員。

寺田南小学校、奥村祐介議員。

青谷小学校、谷村希実議員。

京都女子大学附属小学校、庄司瑞季議員。

久津川小学校、筑紫美月議員。

深谷小学校、鈴木嶺青議員。

今池小学校、奥 悠愛議員。

久世小学校、西村紅葉議員。

寺田西小学校、奥 公汰議員。

富野小学校、浅田九十九議員。

以上 11 名、ジュニア議員の紹介を終わります。

6 増田市議会議長あいさつ

皆さん、こんにちは。

城陽市議会議長の増田 貴でございます。よろしくお願いいたします。

今、ジュニア議員の皆さんが座っているところは本会議場でございます。この本会議場で、城陽市議会 20 名の議員が一般質問にあたります。そして、城陽市のこれからの未来将来、それから市民の皆様からいろんな形でいただいたことを議員が提案しているということでございます。市民の皆さんの代表として、生活に関わることを質問し、日々の生活が豊かになるよう努めています。

これから皆さんは、私たち議員と同じようにジュニア議員として質問を行うわけでございます。皆さんの提案を拝見させていただきました。本当に素晴らしい提案でございます。皆さんの目線に立った提案ということで、どのような質問をされるのか改めて楽しみにしております。

本日は、これまでの研修の成果を十二分に発揮され、議会や市役所の仕事に関心を深め、今後の城陽市の発展に活躍していただけることと期待しております。



7 増田市議会議長によるジュニア議長・副議長指名

それでは、これよりジュニア議会の議長及び副議長を指名により選任します。

ジュニア議長に北川皓基議員を選任いたします。

ジュニア副議長に奥 悠愛議員を選任いたします。

それでは、北川議員に、議長席に着いていただきます。



8 ジュニア議長あいさつ・開会宣言

ただいま、ジュニア議長に選任されました北川皓基です。

僕は、教育のことや食品ロスなどのいろいろなことについて興味があり、ジュニア議員になろうと思いました。

ぼくは、今後の城陽市が、緑あふれるまちになるように木の苗を植える活動やきれいな空気の城陽市ができればと思います。

今日、わたしたちジュニア議員は自分たちが住む城陽市がもっといいまちになるようにと、質問や提案を考えてきました。

皆さんのご協力をいただき、スムーズな運営に努めたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

それでは、市制施行 45 周年記念事業城陽市ジュニア議会を開会します。本日はよろしくお願いします。



9 一般質問

(1) 三宅頼輝議員（古川小学校）

公園のボール遊び禁止ルールについて

○北川皓基議長

それでは質問をはじめます。

最初は、古川小学校三宅頼輝議員です。

三宅議員は公園のボール遊び禁止のルールについて質問します。

三宅議員お願いします。

○三宅頼輝議員

これから城陽市の公園や遊び方などについて質問します。

僕は、外で遊ぶ時に、よく公園に行きます。でも、近くにある公園は「ボール遊び禁止」というルールがあります。近くにある公園はボール遊びをするとボールがすぐに外に出てしまったりで、危険なことが多かったり、ほかに僕たちが遊ぶような遊具がなかったり、僕たちには何もできない公園に感じます。ボール遊びができないと小さい子どもたちにとったら安全な公園です。ブランコや滑り台で遊べると小さい子どもたちにとったら楽しい公園です。それもとても大切だと思います。でも僕たちにとってもたくさん遊べる場所であってほしいと思うので、少し大きい子でも遊べる遊具やボール遊びができるルールを変えたりすると僕たちはとてもうれしいです。そんな場所はできたりしますか。



○北川皓基議長

奥田市長。

○奥田敏晴市長

三宅頼輝議員のご質問にお答えします。

現在城陽市が管理しています公園ですが、いっぱいあるんです。どれぐらいあるかわかりますか。市内には210カ所もあります。お年寄りの方から小さな子どもさんまで、いろん

な人が利用することができる場所となっています。

まず、公園の遊具を増やすことについてですが、城陽市では、毎年一小学校区ずつではありますが、地域で育む親しみ公園整備という事業を行っており、入り口の段差の解消や遊具の取り換えを行っています。昨年度は深谷校区の深谷第 2 幼児公園において、入り口の階段部分をスロープに改修してお年寄りや車いすでも利用しやすくしたり、小さな子どもさんが乗って遊べる遊具を新たに設置しました。この取り組みは平成 17 年度から実施しているわけですが、三宅議員がお住まいの古川校区では、平成 21 年度に里ノ西第 1 幼児公園において、入り口のスロープ化やベンチの設置、遊具の取り換えなどを行いました。この事業については、自治会と協議をして整備する公園を選んで、整備の内容についても、地域の皆さんと市で話し合いのうえ、決めることとしているわけです。また、市内全ての公園の遊具については、定期的に点検を行っており、交換することが必要となった遊具については、自治会のご要望に応じた更新や新設を行っているところです。

次に、公園のフェンス等にボール遊び禁止と書かれた看板を見かけられたところですが、これは野球やサッカー等のボール遊びが公園の他の利用者や近くに住んでおられる方に危険を及ぼすことがあり、自治会と協議してルール化したものです。

そのような中で、「ボール遊び禁止」というルールを変えるにはどうしたらいいかということですが、他の公園利用者や近隣住民の方々に迷惑をかけたり、危険を及ぼしたりしないようにしなければなりません。

ボール遊びができるためのルールについては、たとえば、ボール遊びができる時間帯を午後 4 時から 5 時までの 1 時間と決め、その時間帯にできるボール遊びをサッカーならサッカー 1 種類とし、まず保護者同伴でというルールをつくって、地元自治会の方や公園の近隣の方々に了解が得られるのであれば、ルールの変更はできると考えております。

したがって、まずはお父さん、お母さん、お友達と話し合ってもらい、お父さん、お母さんから自治会の役員さんに連絡をしていただくことが一番いい方法だと考えております。

○三宅頼輝議員

ありがとうございました。これで僕の質問を終わります。

○北川皓基議長

三宅議員ありがとうございました。

(2) 奥村祐介議員（寺田南小学校）

キャンプ場、温水プールなど家族で楽しめる施設の建設計画について

○北川皓基議長

次は、寺田南小学校奥村祐介議員です。

奥村議員はキャンプ場や温水プールなど家族で楽しめる施設について質問します。

奥村議員をお願いします。



○奥村祐介議員

城陽市の施設について質問します。

最近、城陽市では、高速道路もできて便利になり、数年後には長池にアウトレットもでき、どんどん栄えてきていると思います。長池にアウトレットができると、まちは賑わい、訪れる人も増えるので、城

陽市の収入も増え、新しいものを作るためのお金もできるのではないかと思います。

そのお金でアウトレットだけでなく、他の施設も作った方が良いと思います。例えば、大きいアスレチックやグランピングなどができるキャンプ場、温水プールやウォータースライダーがある温泉施設など、家族で楽しめる施設が必要だと思います。

アウトレットでは、大人は楽しめても子どもはあまり楽しめません。そこで、家族で楽しめる施設が必要だと思います。何か作る予定はありますか。

○北川皓基議長

奥田市長。

○奥田敏晴市長

奥村祐介議員のご質問にお答えします。

城陽市は、平成 35 年度に今から約 6 年半後ですが、このあいだ城陽と八幡京田辺間が開通しましたが、今度は城陽から大津までの新名神高速道路が開通します。したがって、城陽市はどこからでも来やすく、また、どこへも行きやすい、とても便利な場所になります。

長池にアウトレットモールが完成すると、城陽は一層賑わいを見せ、奥村議員がお話されたように城陽市の税金の収入も増えるものと期待しています。

しかし、城陽市の財政は、まだ厳しい状況にあります。新しい城陽、皆さんが大人になったときにやっぱり城陽がよかったと思っていただけるような、そういうまちづくりを今から準備していかなければならないと考えています。また、すべての市民の皆さんが安心して安全に生活ができるように、道路や公園、水道などの大事な施設は、お父さんやお母さんなどが納めていただいた税金等の大切なお金を使って、有効に整備を続けていく必要があります。

そのためには、「最少のお金で最大の効果を上げる」「民間会社でできることは民間会社に任せる」という基本的な考えのもと、城陽市の施設の管理・運営に当たっては、様々な民間会社の力を活用したやり方で事業を進めているところです。

奥村議員にはまだ難しいかもしれませんが、指定管理者制度というのがあり、これは民間会社などの力を利用したやり方で、例えば文化パルク城陽や鴻ノ巣山運動公園は、城陽市が建設し整備したのですが、民間会社などにその運営をお願いしているところです。

ご質問いただきました温水プールや温泉などは、すでに民間会社が市内につくって営業されています。グランピングなどができるキャンプ場は、今の城陽市にはありませんが、鴻ノ巣山運動公園において、アウトドア用品の販売を行っている株式会社ロゴスコーポレーションという会社が、平成 31 年度から宿泊施設や公園の一部を管理する予定であり、先ごろ、同社から、レクリエーションゾーンにおいて、家族一緒にアウトドアを楽しむことができる仮称ロゴスランドを整備していきたいとの構想をお聞きしたところです。

また、鴻ノ巣山運動公園には温泉はありませんが、大きなお風呂があります。こちら、先に説明した株式会社ロゴスコーポレーションが幅広い層の方々に利用してもらえるような形に改修される計画を提案されておりますので、ご家族でキャンプをするには最適な場所になると考えています。

一方、城陽市の東部丘陵地、昔の山砂利採取跡地ですが、ここの広さは 420 ヘクタールです。これは、甲子園球場が 100 個も入る大きさで、面積は城陽市が 32 平方キロ、東部丘陵地が 420 ヘクタールということで、4.2 平方キロ、城陽市は 32 平方キロなので 4.2 平方キロというのは城陽市の 7 分の 1 から 8 分の 1 を占めている大きさになります。この広い土地に、今後具体的にどのような施設を誘致して、まちを作っていくのかは、これから決めていくところなので、奥村議員からもご意見をいただければと思います。

これからのまちづくりは、皆さんに「城陽市に住んでいて良かった」と思っていただき、「城陽市に夢や誇りを持てる」ようなまちづくりを考えているところです。

○奥村祐介議員

ありがとうございました。これで僕の質問を終わります。

○北川皓基議長

奥村議員ありがとうございました。

(3) 谷村希実議員（青谷小学校）

街灯の配置について

○北川皓基議長

次は、青谷小学校谷村希実議員です。
谷村議員は街灯の配置について質問します。
谷村議員お願いします。

○谷村希実議員

私が住んでいる青谷市辺地区にある街灯の配置とアイデアについて質問します。

私が習い事の行き帰りに通る道には街灯が少ないです。大型のトラックなどの通る道と分かれているので、人通りが全くありません。朝と昼は明るくて安心しますが、夜になると暗くて危ないです。しかも、住宅街ではないので、危険な目にあっても、気づかれないかもしれません。街灯がなくて、落とし物をしても暗くて気づかなくて、なくしてしまうかもしれません。街灯があったら安心するし、何か危ないものにも気づくと思います。なので、住宅街ではない所にも、たくさん街灯をつける必要があると思います。

山城大橋を渡る前にあるバイパスと 307 号の道路には街灯が少ないので、配置を多くするなど、どのように考えていますか。また、どのように改善しようなど思っていますか。最後に、市民のみなさんが、安全に過ごしてもらえるために、何か対策などはしていますか。



○北川皓基議長

奥田市長。

○奥田敏晴市長

谷村希実議員のご質問にお答えします。

街灯設置の目的については、犯罪が起こらないように暗いところを明るくして、歩行者が安心できるまちを作ることを目的にしています。明るさですが一定の基準があり、現在地上からの高さ 1.5 メートルで 0.5 ルックスという一つの目安があり、地上からの高さ 1.5 メートルで 0.5 ルックスを確保することを目標として設置に取り組んでいるところです。

また、たしかに田んぼや畑のあるところでは、街灯の数も少なく暗くなっている場所があります。ただそれには、いろいろ理由があり、街灯を設置することによって、明るい光の害が出てきます。光害と言いますが、これは周辺の畑、田んぼに農作物があります。その農作物がいつも昼間は明るくていいのですが、夜も明るいと昼間と夜間の区別がつかなくなる。夜間でも昼間のように感じ、農作物の成長を早めてしまいます。その光害による農作物への被害を少しでも減らすため、どうしても街灯の数を減らす必要があります。

次に、307号に街灯が少ないとのこと指摘ですが、谷村議員もご承知のように、昨年度芦原バス停の西行き方面に街灯を増設しました。他に暗い場所があれば、お申し出をいただいて、市の担当者が現地確認をさせていただき必要ならば街灯をつけさせていただきたいと思っています。

次に、市民の皆さんが、安全に過ごしていただく対策についてですが、城陽市では、夏と冬に2回に分けて、市民の安全安心のため、迷惑駐車等が多い地域を重点的に城陽警察署と消防本部と市役所などの3者が合同でパトロールを行い、日常業務の中で点検を行っています。また、個人でできることとしては、大型車などが通る道では、夜間は目立つ色の服装にすることや、反射材を体に着けて歩道を歩くことが大切となってきます。

最後に、その他として、青谷地域では月に2回消防でパトロールを実施したり、城陽市内の街灯をLEDに交換して寿命を長くしたりしています。また、学校や地域の人などの意見をよく聴いて対策を考えているところです。

○谷村希実議員

ありがとうございました。これで私の質問を終わります。

○北川皓基議長

谷村議員ありがとうございました。午後2時20分まで休憩します。

<休憩 15 分>

(4) 庄司瑞季議員（京都女子大学附属小学校）

災害時を想定した避難訓練や災害情報の収集方法について

○北川皓基議長

休憩前に引き続き会議を開きます。

質問を続けます。京都女子大学附属小学校庄司瑞季議員です

庄司議員は災害時を想定した避難訓練や災害情報の収集方法について質問します。

庄司議員お願いします。



○庄司瑞季議員

災害時を想定した避難訓練や災害情報の収集方法について質問します。庄司瑞季です。

7 月、九州地方で大雨による土砂災害の被害を受け、多くの方が、行方不明になりました。もし、城陽市で起こったと考えます。

私の祖父母は、高齢で動作がゆっくりです。災害時には自宅近くの小学校もしくは中学校が避難場所になります。どちらも自宅から歩いて 10 分程度の距離にありますが、坂道や砂利道があり、実際、災害の時はスムーズに移動できるかが心配です。各自が自宅から避難場所までの道を確認できるような避難訓練の予定はありますか。住民参加の訓練があれば各自が災害時への関心を持つきっかけになるのではないかと考えます。

また、災害時の情報収集ですが、電気が止まってしまうとテレビが見られないので、携帯やスマートフォンが上手く使えない高齢者は、情報収集にとっても困ると思います。高齢者向けに携帯やスマートフォンの講習を提案したいと思います。

○北川皓基議長

奥田市長。

○奥田敏晴市長

庄司瑞季議員のご質問にお答えします。

去る 7 月 4 日からの豪雨により、島根県、福岡県、大分県などで大きな災害が起きました。特に福岡県南東部から大分県西部にかけては、多くの方々が犠牲となりました。心か

らご冥福をお祈り申し上げます。

また、大きな被害に遭われました方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、ご質問をいただきました各自が自宅から避難場所までの道を確認できるような避難訓練につきまして、まず、お答えさせていただきます。

城陽市では、小学校の通学区域、校区ごとに、自治会などの団体を中心とした自主防災組織を作っています。この自主防災組織が、それぞれに防災訓練を毎年実施されており、小学校への徒歩による避難も訓練の一環として取り組まれているところです。

具体的には、各自治会ごとに、あらかじめ決めておいた集合場所に集まり、そしてそこから避難所になっている小学校まで避難するといった内容で取り組まれています。

このような訓練は、それぞれの自主防災組織によって実施される時期が異なりますが、8月下旬から翌年の1月の間に行われており、自治会の回覧などで訓練への参加の呼びかけが行われていますので、ぜひともこの自主防災組織が実施される訓練に参加していただければと思っています。城陽市は、危機・防災対策課や消防本部など関係する部局・部門で、この訓練の支援を行っているところです。

次に、災害時に避難などの情報を知る手段として、スマートフォン・携帯電話が有効であることから、高齢者のための講習をご提案いただきましたことについて、お答えします。

携帯電話やスマートフォンを使って災害時に、注意報や警報の発表に関する情報、地震に関する情報、災害時の避難に関する情報などをお知らせする仕組みが整えられています。

具体的には、緊急地震速報とか今回の九州の豪雨の時の記録的短時間大雨情報などの情報は、携帯電話やスマートフォンに直接連絡される仕組みが既につくられています。

これとは別に、城陽市では、あらかじめ登録していただいている携帯電話・スマートフォンに「気象情報」「防災情報」「防犯情報」を伝える「安心・安全メール」という仕組みを作っています。

これは、あらかじめメールアドレスを登録していただいている方に市からメールで気象に関する情報、防災に関する情報、災害に関する情報、防犯に関する情報を提供する仕組みになっており、平成29年3月現在で7,542人の方々に登録をしていただいているところです。

市としては、このような携帯電話やスマートフォンを活用した災害情報の伝達を今後ともより多くの市民の皆様にご利用していただきたいと考えており、ご提案いただきました講習につきましては、市職員によるまちづくり出前講座など、高齢者の方々がお集まりになれる機会をとらえて、「安心・安全メール」の登録や災害情報を携帯電話で知るための方法等を積極的に伝えてまいります。ご提案ありがとうございます。

○庄司瑞季議員

ありがとうございました。これで私の質問を終わります。

○北川皓基議長

庄司議員ありがとうございました。

(5) 筑紫美月議員 (久津川小学校)

城陽の自然の今後について

○北川皓基議長

次は、久津川小学校筑紫美月議員です。

筑紫議員は城陽の自然の今後について質問します。

筑紫議員お願いします。

○筑紫美月議員

城陽の自然について筑紫美月です。

城陽の豊かな自然の今後について質問します。

城陽市は自然が豊かで、たくさんの生きものの命を感じます。春にはウグイスの美しい声を聞き、今の時期にはカエルやセミが競い合うように鳴いています。また、学校給食では、地産地消を重視し「ひのひかり」やサツマイモ、なすび、白菜、特産の梅を取り入れたメニューで、生産者の汗や苦勞を感じながら、私たちは感謝の気持ちを大切に大きく成長しています。このように私たちは多くの自然に包まれ生かされています。

高速道路の建設が進み、新しい道が付き、大きな建物が建ち始め、今後たくさんの人が城陽市で働くことが出来るようになり、人口が増加する、と市をあげての一大事業が取り組まれています。もうすぐ城陽市は新しい姿に変わろうとしています。しかし、それにより交通量の増加が予想され大気汚染が心配されます。また、城陽市は近隣の大都市とは違い水道の蛇口をひねればおいしい水を飲むことができます。今後工場などが増えることによる汚水の排出も心配されます。大気汚染や城陽のおいしい水については、どうお考えですか。

私たちを育ててくれている城陽の自然は、どうなっていくのか、また自然との共存についてはどう考えておられるのか教えてください。

○北川皓基議長

奥田市長。



○奥田敏晴市長

筑紫美月議員の質問にお答えします。

筑紫議員におかれましては、日頃から生命の尊さを感じられ、また地元の農産物を食べる時には、生産者の汗や苦勞を感じておられるとのこと、とてもすばらしいことだと存じます。

城陽市には多くの動植物が生息できる豊かな自然と、良質な地下水や木津川の恩恵を受けたおいしい農産物が数多く栽培されており、一人でも多くの皆さんにその魅力をお伝えし、また、味わっていただきたいと思っていますところでは。

さて、筑紫議員がおっしゃられたとおり、今まさに城陽市では新名神高速道路や東部丘陵地の整備、ＪＲ奈良線の複線化などの大型事業が展開されており、大きな道路が市内を通り、数多くの会社や商業施設等が建設されていくことで、たくさんの人が働き暮らす、活気に満ちたまちとなります。

一方、新名神高速道路や東部丘陵地の整備による車や工場などの増加により、大気汚染や汚水の心配もあると思います。しかし、これから進むまちづくりでは自然との調和や共存を図るとともに、工場などに対する監視を十分に行うことで、心配されているような大気汚染や水質汚濁のないまちづくりをしてまいりたいと考えています。

現在でも城陽市では、毎年４回、市内２０カ所で大気の状態を把握するための大気測定を行うとともに、市内８つの河川の水質測定を行って、大気や河川水質の状態をしっかりと把握しています。また、城陽市の魅力の一つでもあります良質で豊富な地下水につきましても、毎年１回、市内１４カ所の井戸で水質測定を実施していますが、いずれも環境基準を満たし、問題のないことを確認しています。

今後も引き続き、大気や河川、地下水の水質測定を実施しながら、城陽市内の環境をしっかりと守っていきたいと考えています。

また、城陽市の水道水につきましても、その大半は地下水を利用しております。これからもしっかりと水質検査を続け、安全でおいしい水道水を供給できるように努めてまいります。

筑紫議員におかれましては、今後も城陽市の自然の恵みを大いに感じていただくとともに、いつまでもふるさと城陽への愛着と誇りを持ち続けていただきますようお願いいたします。

私もこれから変わっていく新しいまち「NEW城陽」の魅力を十分感じながら、十分城陽の皆さんとともに一生懸命政策に取り組んでまいりたいと考えています。

○筑紫美月議員

新しい城陽に生まれかわることにたくさんの方が期待を持たれていますが、その一方で私たちを育ててくれている自然のことも忘れないで、ぜひ努力をしてください。ありがとうございました。これで私の質問を終わります。

○北川皓基議長

筑紫議員ありがとうございました。

（６）鈴木嶺青議員（深谷小学校）

再生可能エネルギーを利用した発電の取り組みについて

○北川皓基議長

次は、深谷小学校鈴木嶺青議員です。

鈴木議員は再生可能エネルギーを利用した発電の取り組みについて質問します。

鈴木議員お願いします。

○鈴木嶺青議員 城陽市の再生可能エネルギーを利用した発電の取り組みについて、鈴木嶺青です。

城陽市の再生可能エネルギーを利用した発電の取り組みについて質問します。

今、地球温暖化が深刻な問題になっていると聞きました。そこで、地球温暖化の主な原因物質となっている二酸化炭素の排出量が少ない、再生可能エネルギーを利用した発電に着目しました。僕の家では、太陽光パネルを設置しています。

城陽市は、再生可能エネルギーを利用した発電の推進を行っていますか。また、行っていたら、どのように推進していますか。教えてください。



○北川皓基議長

奥田市長。

○奥田敏晴市長

鈴木嶺青議員のご質問にお答えします。

地球温暖化については、鈴木議員ご指摘のとおり、世界中で異常気象を引き起こすなど深刻な問題となっており、その対策が急がれているところです。

城陽市でも、地球温暖化対策を重要な課題のひとつとしてとらえ、地球温暖化を防止するために各種事業を行っています。例えば、「こどもエコバスツアー」とか「親子省エネ工作教室」など、親子で地球環境問題を考える学習会なども行っています。

鈴木議員のご質問にあります、再生可能エネルギーを利用した発電の推進としましては、平成 22 年度から平成 26 年度に住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助金交付事業を実

施して、市民の方々に 5 年間で計 566 件の太陽光パネルの設置を行っていただくなど、再生可能エネルギーを推し進めているところです。また、東部コミュニティセンターなど市の施設 10 カ所に太陽光パネルを設置しているほか、現在建設しています市の庁舎にも太陽光パネルを設置する予定としています。その他、今年度から太陽光発電システムと蓄電池システムを同時に設置した場合の補助制度をつくり、市民の多くの皆様に利用していただこうと考えているところです。

太陽光パネルの設置は、電気をつくり出す際に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないだけでなく、自宅でエネルギーをつくり出し、それを自宅で使用するというエネルギーの地産地消を実現することができ、環境面でも非常に効果のある取り組みです。

また、別の取り組みではありますが、城陽市の面積の先ほどご紹介いたしました約 13%にあたります東部丘陵地、この城陽市の南東部にある山砂利採取の跡地がある訳ですが、この場所に企業等に来ていただいて、働く場所の確保など、城陽市が元気になるようにと、アウトレットの誘致などの取り組みを進めているところです。

この東部丘陵地の地上 20 m ぐらいのところに、新しく新名神高速道路が通ります。

この新名神高速道路の「斜面、高いところを走りますんで、のり面というんですけども、ここに太陽光パネルが設置できるのではないかな」、また「近くにあるごみ焼却施設の熱が利用できないか」という可能性についてただいま調査をしたり、研究をしたりしているところです。

鈴木議員ご質問の再生可能エネルギーの活用は、環境にやさしいほか、エネルギー事業として成立すれば、地域の活性化にも繋がる、とても素晴らしいことであると考えています。城陽市としても、引き続き、再生可能エネルギーの普及や啓発に努め、環境に配慮したまちづくりを進めていきたいと考えています。

○鈴木嶺青議員

ありがとうございました。新名神高速道路の斜面に太陽光パネルを設置するのを実現させ、ぜひアウトレットモールなどに電気を供給できるようにしてはどうですか。お願いします。今日はありがとうございました。

○北川皓基議長

鈴木議員ありがとうございました。

(7) 奥 悠愛議員 (今池小学校)

①自然を守るための取り組みについて

②城陽の観光地を知ってもらうための取り組みについて

○北川皓基議長

次は、今池小学校奥 悠愛議員です。

奥議員は、自然を守るための取り組みについてと城陽の観光地を知ってもらうための取り組みについて質問します。

奥議員お願いします。



○奥 悠愛議員

これから城陽市の自然と観光地について質問します。

まず、自然についてです。この城陽市でも、災害や木の伐採などで自然が少なくなっていると思います。この間は、お母さんとお母さんの友達が、キツネやシカを家の近くで見たと言っていました。このことから、自然が少なくなっているから森の動物もまちなかにでてきてしまうのだと思います。

動物たちのためにも、自然を守るためにも、これからどのような工夫をして活動していきますか。

○北川皓基議長

奥田市長。

○奥田敏晴市長

奥 悠愛議員のご質問にお答えします。

まず、自然を守るための工夫について、お問い合わせをいただきました。

奥議員のお母さんが家の近くでキツネやシカを見かけられたとのことですが、城陽市には多くの動物が生息・生育できる豊かな自然に恵まれており、キツネやシカのほか、タヌキやイノシシなどの野生動物や、オオタカやダルマガエルなど希少生物の生息も確認されて

います。

一方、奥議員ご指摘のとおり、この城陽市でも昭和 40 年代から 50 年代にかけての急激な人口増加や都市化による大規模な宅地造成、またビルやマンションなどを建設するためにたくさんの山砂利採取が行われるなど、田畑や森林等が減少してきたことも否定できない事実です。

そこで城陽市では、市民が安心・安全で快適な生活を営むことができる良好な環境を確保することを目的に、平成 13 年 12 月に「城陽市環境基本条例」をつくり、城陽市の豊かな自然環境を守り、人だけでなく、森の動物たちにとっても住みよい環境づくりを進めているところでございます。

例えば、アウトレットモールなどが建設される予定の東部丘陵地の整備においては、国や京都府などの関係機関とお互いに連絡を取り合い、協力しながら、失われた自然を取り戻し、まちと自然が調和した緑豊かなまちづくりを目指すこととしています。

また、市民の皆さんに、緑の重要性を認識していただき、緑化に対する意識を高めていただくことを目的として、毎年「城陽市緑化フェスティバル」を開催しており、高校生や大学生などを含む若いボランティアスタッフによる運営のもと、多くの市民の皆さんにご参加いただいています。

更に、市内にあります古い木、大きい木、珍しい木、いわれのある木などで、地域の緑化のシンボルとなる木を、緑の大切さを実感していただける 1 つの象徴として、「城陽市名木・古木」に認定しています。

その他に、市民の皆さん自らが環境保全活動の実施や啓発等を行う「城陽環境パートナーシップ会議」におきましては、自然観察会を実施し、城陽市内の動植物の生息状況等を確認する活動を行い、生息の確認できた希少生物などについては「城陽市生き物住民登録」として記録し、それらを「城陽生き物ハンドブック」としてまとめ、市民の皆さんに公表し、ふるさと城陽の自然環境の保全に努めているところです。

奥議員におかれましては、城陽市内の自然環境に自身で触れて、感じていただくことが自然保護活動の一助となりますので、こういった活動に是非ともご参加いただきますようお願いします。

○奥 悠愛議員

ありがとうございました。

次に、観光地について質問します。城陽市にも、たくさんの観光地があると思います。つい最近、旅行に来ていた外国人が自転車で走っているのを私は見かけました。その外国人は、

たぶん城陽市についてよく知っていないでしょう。だから、いろいろと知ってもらうために、城陽市は工夫をしているのだと思います。私は、いろんな所に、その観光地について書いた記事やパンフレットを置くと良いと思います。それを見てもらうためにも、良い所をいっぱい集めて書いたマンガや楽しく知れる問題などを入れると良いと思いますが、どう思いますか。

○奥田敏晴市長

ただいま、観光についてご質問いただきました。

奥議員からご提案いただきましたように、いろいろな所に城陽市を紹介するパンフレットを置くことや、また、そのパンフレットをより多くの人に見てもらうために、マンガや楽しい記事を掲載することは大変よい取り組みであると考えています。

2点についてご質問いただいたところですが、奥議員は、観光地というところを想像しておられますか。

金閣寺や清水寺、大変有名なお寺や神社がある京都市、ここには、世界中から観光客が訪れています。平成 28 年の資料では京都府全体に訪れられた観光客数は、約 8,700 万人でしたが、そのうち、京都市を訪問された観光客は 5,500 万人、

また、お隣の宇治市には、平等院がありますが、平成 28 年には約 550 万人の観光客が訪問されました。

さて、この城陽市にはどれくらいの観光客が訪問されたのでしょうか。正解は 101 万人です。

城陽にはどんな観光資源があるのでしょうか。私たちの住む城陽には金閣寺や平等院といった世界的に有名なお寺などはありませんが、緑豊かな自然に囲まれ、その自然を存分に体験できる場所や、四季を通じた様々なイベント。催し物があります。

城陽の観光客約 101 万人のうち、約 62 万人はスポーツ・レクリエーションを楽しむために訪れられた方で、約 22 万人はイベントに参加された方でした。

スポーツ・レクリエーションを楽しむ場所としては、城陽市総合運動公園がありますし、京都サンガ F.C.の練習場であるサンガタウン城陽や京都府立木津川運動公園など、自然を体験・体感し、楽しんでいただけるような場所がたくさんあります。

四季折々のイベントとしては、毎年、2 月から 3 月には青谷梅林で梅まつりが、11 月には文化パルク城陽で J O Y O 産業まつりが、12 月には総合運動公園レクリエーションゾーンで T w i n k l e J O Y O が、それぞれ開催されています。

このような素敵な場所やイベントは市の広報紙やホームページ、ツイッターなどの S N

Sを通じて紹介しているほか、京都駅にある観光案内所に様々なパンフレットを置いたりして、より多くの人に城陽を知っていただき、そしてお越しいただく取り組みを進めているところです。あわせて、ご提案のありましたパンフレットに漫画を掲載するなど手に取っていただきやすい工夫を今後考えていきたいと考えています。

また、新しい取り組みを紹介しますと、10月8日には、昨年に引き続き、城陽五里五里の丘で城陽秋花火大会を、10月29日には、同じく城陽五里五里の丘でお茶の京都食の祭典を開催します。

これらの新しいイベントのほかにも、今から6年後には、多くの買物観光客がこの城陽に訪れられるまちになるよう、アウトレットモールをつくる取り組みも進めているところです。

市ではこれからも緑豊かな自然を生かし、様々な体験・体感を通じて観光客にたくさん訪れていただけるような取り組みを進めていきたいと考えています。

城陽の観光を盛り上げていけるよう、奥議員とご一緒に取り組んでいきたいと考えていますので、若い、新しいアイデアをどんどん寄せていただきますようお願いいたします。

○奥 悠愛議員

ありがとうございました。今日のことで自然について、観光地についてよく知れたので良かったです。これで私からの質問を終わります。

○北川皓基議長

奥議員ありがとうございました。午後3時15分まで休憩します。

<休憩 15 分>

(8) 西村紅葉議員 (久世小学校)

観光地である古墳について

○北川皓基議長

休憩前に引き続き会議を開きます。

質問を続けます。

久世小学校西村紅葉議員です。

西村議員は観光地である古墳について質問します。

西村議員お願いします。



○西村紅葉議員

城陽市の観光地への来客者を増やす取り組みについて西村紅葉です。

城陽市の観光パンフレットに載っていた古墳について質問します。

城陽市の久津川車塚古墳は、山城一ということを聞きました。また、私の学校には古墳があることで、古墳について歴史民俗資料館などの方々に教えてもらうことがたくさんありましたが、いつ見に行っても見に来ている観光の方々がいません。好きな古墳を見に来ている人が少なくて悲しいです。もっとたくさんの人に山城一の古墳を見てもらえると他の城陽市の魅力に気づいてもらうことが出来ると思います。

たとえば、私は、人にたくさん来てもらうには、一人一枚古墳スタンプラリーをして、全部たまれば割引券がもらえるイベントをすれば良いと思います。観光客が増えるような取り組みは何か考えていますか。教えてください。

○北川皓基議長

井関教育長。

○井関 守教育長

西村紅葉議員のご質問にお答えします。

久津川車塚古墳については、市民や見学に来られた方に貴重な文化財であることや古墳がどういうものであるかを知ってもらうことができる史跡公園としての整備を計画しています。現在、久津川車塚古墳がどのような古墳であるかを調べるための発掘調査を平成 26

年度から行っています。発掘調査は平成 37 年度までの予定で、その後史跡公園とするための工事を行い、皆さんが成人して社会で活躍されている頃の平成 43 年度頃に完成させる計画をしているところです。

西村議員が通っている久世小学校の中にも古墳があります。その久世小学校古墳は、先にお答えした、久津川車塚古墳や、丸塚古墳、芭蕉塚古墳とともに、平成 28 年 10 月に久津川古墳群として国の史跡に指定されたものですが、小学校の名前が付いた古墳は全国的にも珍しく自慢ができる素晴らしい古墳と聞いています。

今、城陽市ではエコミュージアムという事業をすすめています。エコミュージアムは、城陽市内にある古墳や遺跡、山や滝、樹木などの自然、お茶や寺田イモ、イチジクなどの農産物、お酒造りや金糸銀糸の会社などの産業、文化パーク城陽や鴻ノ巣山運動公園などの施設を「まちの宝」として、城陽市全体をまるごと博物館とするものです。また皆さんも含めた市民一人一人が学芸員として、「まちの宝」を探したり、案内したりして、市民や市外からやってくる人たちにその宝の魅力を伝えていくものです。

今年度は、市内にある「宝」を巡るツアーイベントを 3 回予定しています。参加していただいた方には、「宝」を紹介したカードを参加賞として配布する予定です。皆さんもぜひふるって参加していただければと願っています。

これからも「JOYOエコミュージアム」は、市民参加でいろんなアイデアを取り入れて、運営していく予定です。西村議員からいただいたスタンプラリーのご提案も含めて、いろいろな企画をしていきたいと考えていますので、皆さんも是非、積極的に参加、協力していただければと考えます。

また、今後皆さんのような地域の子どもたちが校区内の史跡や地域の良いところを理解し、市民やそれ以外の多くの人たちにその説明をしていただけるような活動も大いに期待しているところです。ありがとうございました。

○西村紅葉議員

私も参加してみたいと思うような企画だったので、今度企画があるときは参加してみようと思います。ありがとうございました。

○北川皓基議長

西村議員ありがとうございました。

(9) 奥 公汰議員 (寺田西小学校)

交通安全について

○北川皓基議長

次は、寺田西小学校奥公汰議員です。
奥議員は交通安全について質問します。
奥議員お願いします。

○奥 公汰議員

奥 公汰です。城陽の交通安全と観光について質問します。

まず、なぜ交通安全について質問をするかというと、前に信号の近くに花が供えられていたのを見たからです。

そんな中、城陽に京都府全体の郵便が集まる大きい郵便局や新しいお店がたくさん出来ると聞きました。

交通量が増えることによって、交通事故が増えると思います。交通安全対策は考えていますか。



○北川皓基議長

奥田市長。

○奥田敏晴市長

奥 公汰議員のご質問にお答えします。

交通安全対策についてご質問いただきました。

今、奥議員の住んでいる近くに大きい郵便局や新しいお店がたくさんでき、多くの車や人がやってくることを予想しています。そこで、8月26日に開通する都市計画道路塚本深谷線は、寺田と久津川の間で東西に通る近鉄と平面交差の道です。この塚本深谷線では、混雑しないように車道とは別に幅の広い歩道を作り、歩く人や自転車に乗る人が安全に通行できるように計画しています。また、今ある道路についても、歩道の整備を行うなどの安全対策を進めていきたいと考えています。

また、小学校では交通安全教室を実施したり、地域では通学時の見守り活動、車の速度を

30kmに抑える「ゾーン 30」の地区を設定した安全対策も行っています。この他に、警察や団体と「交通安全対策協議会」を組織して、アルプラザやイズミヤなどにおける交通安全に対する啓発活動や春・秋の全国交通安全運動など、年間を通じて啓発の取り組みを実施しているところです。

最近、歩く人と自転車に乗る人との事故が多く発生していることが、全国的に問題となっています。京都府では、「自転車の安全な利用の促進に関する条例」を改正され、平成 30 年 4 月 1 日から府民に対し、自転車保険の加入義務化が実施されることとなっています。事故を起こすと加害者、被害者をはじめその家族もたいへん悲しい思いをします。事故を起こさないよう曲がり角ではスピードを落とす等ルールを守るように議員の皆さんにもお願いしたいと思います。

最後に、新名神高速道路のような大きな道、議員の皆さんが通っているような通学路等の小さな道、いろいろな道がありますが事故が起きないように車の規制や信号機の設置、横断歩道等の整備についても警察と議論会合を重ねながら進めているところです。

○奥 公汰議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○北川皓基議長

奥議員ありがとうございました。

(10) 浅田九十九議員（富野小学校）

温水プールの建設及び市民プールの新設について

○北川皓基議長

次は、富野小学校浅田九十九議員です。

浅田議員は温水プールの建設と市民プールの新設について質問します。

浅田議員お願いします。



○浅田九十九議員

城陽市のプールについて浅田九十九です。

僕は、城陽市のプールについて2点質問します。

一点目は、城陽市には、どうして温水の市民プールがないのかという質問です。なぜ、この質問にしたかというと、温水プールはどの季節でも、

雨の日でも入れるので、僕は城陽に温水プールを作ると良いと思います。温水プールがあれば、僕のようなスポーツをやっている人もトレーニングもできるので、ぜひお願いしたいです。

二点目は、市民プールを増やしてほしいという質問です。なぜ、この質問にしたのかというと、今は北側にあるので、僕の住んでいる富野校区からは、自転車で40分くらいかかってしまいます。そのことから、僕は、五里五里の丘に作ると良いと思います。そして、新しいプールには、小さい子どもでも遊べるすべり台や、幼稚園児プール、小学生用プール、プール教室があると、嬉しいです。

○北川皓基議長

井関教育長。

○井関 守教育長

浅田九十九議員のご質問にお答えします。

ご質問にありましたように、温水プールは、どの季節にもどんな天候でも左右されずに利用できますし、市民の健康づくりやトレーニングのためにも、市の施設としてあれば、市民の皆様喜んでいただけたらと考えております。しかしながら、温水プールの建設には多額の

整備費用が必要になることと、建設した後においても、運営していくために、働く人々の賃金や水道代、温水にするための設備など、たくさんの費用がずっと必要となることも問題となります。

城陽市内には、今、民間の会社によって運営されている温水プールが 2 か所ありますので、この施設を有効に活用することが大事であると考えています。城陽市では、1 年に 11 回、この施設を貸していただき、市民に無料でご利用いただいています。「温水プール自由遊泳」という名前で実施していますが、その事業について説明しますと、対象者は、城陽市内にお住まいの方、城陽市内には住んでいないけれど市内の学校や会社などに通われている方です。小学校 2 年生以下のお子さんは保護者に同伴してもらうことになります。申し込みは、当日会場となる温水プールに直接来ていただいて、受付でお名前等を書いて申し込んでいただければ無料で利用可能です。昨年平成 28 年度も夏と秋に計 11 回実施して、全部で 529 人の方にご利用していただきました。また今年度も実施しておりますので、浅田議員や他の議員さんも家族やお友達と利用してもらえると嬉しいです。夏季 6 月の実施はもう終わりましたが、秋季の実施は 10 月と 11 月に 2 つのプールで合計 8 回実施します。詳しくは、市や教育委員会のホームページ、広報じょうようでお知らせします。また、市内に 3 つ目の温水プールを市が建設した場合、今ある施設も含め、安定した運営ができるかという問題があります。城陽市では、市の財政負担を少しでも軽くするために、「民間でできることはできるだけ民間の会社にお任せする」という基本的な考えも大事にしたいと思っておりますので、新たな温水プールの整備については、様々な観点から考えることが必要と考えます。

次に二点目の夏季に利用する市民プールを増やせないかというご質問です。

城陽市には、平川にあります北市民プール以外に、青谷にも南市民プールがありましたが、皆さんが生まれる前の平成 11 年度に、施設の老朽化などから廃止となりました。浅田議員のご提案にありましたように、城陽市域の南にあります五里五里の丘に、滑り台もある子ども用のプールなどがあると、市民の皆様も利用しやすくなりますので、大変よいご提案をいただいたと思っています。

ただこの公園は、京都府が管理・整備をされていますので、公園に使いやすいプールの整備をされるように城陽市としても、お願い、要望をしていくことを考えてまいりたいと思います。ありがとうございました。

○浅田九十九議員

ありがとうございました。これで僕の質問を終わります。

○北川皓基議長

浅田議員ありがとうございました。

10 ジュニア議長の閉会宣言

以上で、ジュニア議員からの質問を終わります。これをもちまして市制施行 45 周年記念事業城陽市ジュニア議会を閉会します。ありがとうございました。



11 ジュニア副議長お礼のあいさつ

ジュニア副議長の奥 悠愛です。

市制施行 45 周年記念城陽市ジュニア議会を終了するにあたって、私からお礼の言葉を申し上げます。

今日は、普段入ることのできない議場で市長さんたちに質問や提案などの貴重な体験ができた一日でした。

わたしたちからの質問や提案が、これからの城陽のまちに生かしていただければいいなと思います。

奥田市長、増田議長、市役所のみなさん、本日はありがとうございました。



12 奥田市長閉会あいさつ

顔が少しほころんできましたね。

ジュニア議員の皆さん、たいへんお疲れ様です。とりわけ、ジュニア議長という大役を見事果たされた北川くんには、心から感謝と敬意を表します。

そしてまた今、お礼の言葉を述べられました奥副議長におかれましては、いろいろと私たちのこと慮っていただきありがとうございます。

今日ジュニア議員として参加された皆さんは、大変貴重な素晴らしい体験をされたことと思います。

皆さんからいただいた質問や提案は、様々な体験や日頃から感じている意見を素直な気持ちでしっかりととらえた内容のものばかりで、わたしたち行政を担うものに新たな気づきと深い感銘を与えてくださいました。

ジュニア議長の北川くんからは開会宣言の中で教育や食品ロスについての話がありました。また、皆さんからの問いかけは、交通安全、防災、そして自然、観光、公園などについて幅広い分野にわたっていました。

どの問いかけも限られた時間の中で、城陽のまちについて勉強し、城陽をよくするためにはどうしたらいいのだろうと考えられた上で出された質問や提案であったと思っています。

皆さんからの問いかけの中にもありましたが、新名神高速道路の全線開通やアウトレットモールの開発など、これから城陽市は大きく変わっていきます。

北川くんの開会宣言では、木の苗を植えたりして緑あふれるまちになればというような、城陽の未来の姿についても聞くことができました。城陽の未来を担う皆さんの城陽への思いが伝わってきました。

今日皆さんからいただいた、素晴らしい質問や提案について、今後の城陽市のまちづくりに生かしていきたいと考えています。

最後になりましたが、このような日常とは違う空間で堂々と議事の進行や問いかけを行ったジュニア議員の皆様我心から拍手を送りたいと思います。

これからの学校生活、家庭や地域において、皆さんの活躍を期待しまして私からの閉会のあいさつとします。

本日はありがとうございました。

13 増田市議会議長閉会あいさつ

ジュニア議員の皆さん、お疲れ様でございました。

緊張感が初めの方あったと思いますけど、本当に先ほど市長がおっしゃいましたように皆さんも満足感というような顔をしていると思います。

本日は、保護者の皆様方をはじめ多くの傍聴者の方においでいただきまして、心からお礼申し上げます。

そして、このたびは市議会議員の方々が、各会議室で、皆さんの奮闘ぶりを見ていただいたと思います。

ジュニア議会のジュニア議長を務められました北川くんの、立派な議事進行、また一人一人の発表は見事で、皆さん、大変大役を果たされ、心から敬意を表するわけでございます。皆さんからの質問の中には、我々議員にとりましても本当に、ああこれは必要だな、そして皆さんが、こういったことを考えられている、こういったことを大いに参考にさせていただきたいと思っています。

日頃から感じておられる意見などを率直な気持ちでしっかりと捉えられた内容ばかりで、自分たちが住む城陽市をもっといいまちにしようと、こういった、皆さんの心構えを十二分に感じ取ることができました。

城陽市は、これから、新名神高速道路の平成 35 年全線開通、そしてアウトレットモール開発、新しいまちづくりが急ピッチに始まろうとしています。これから大きく発展していく城陽市にとりまして、今ここにいらっしゃいますジュニア議会に参加された方々、そして若い方々のこれからの城陽市に対する期待、それから、お力、これがこれからも必要になると強く痛感いたしました。今日のこの熱い想いを忘れず、鋭い観察力と若い感性で、明るく、住みよい城陽市のまちづくりにどうかご協力いただきますようお願いします。

皆さんにとりまして、今日の日が良き思い出となりますよう願いますとともに、これからの学校生活、家庭や地域での活躍を期待しております。

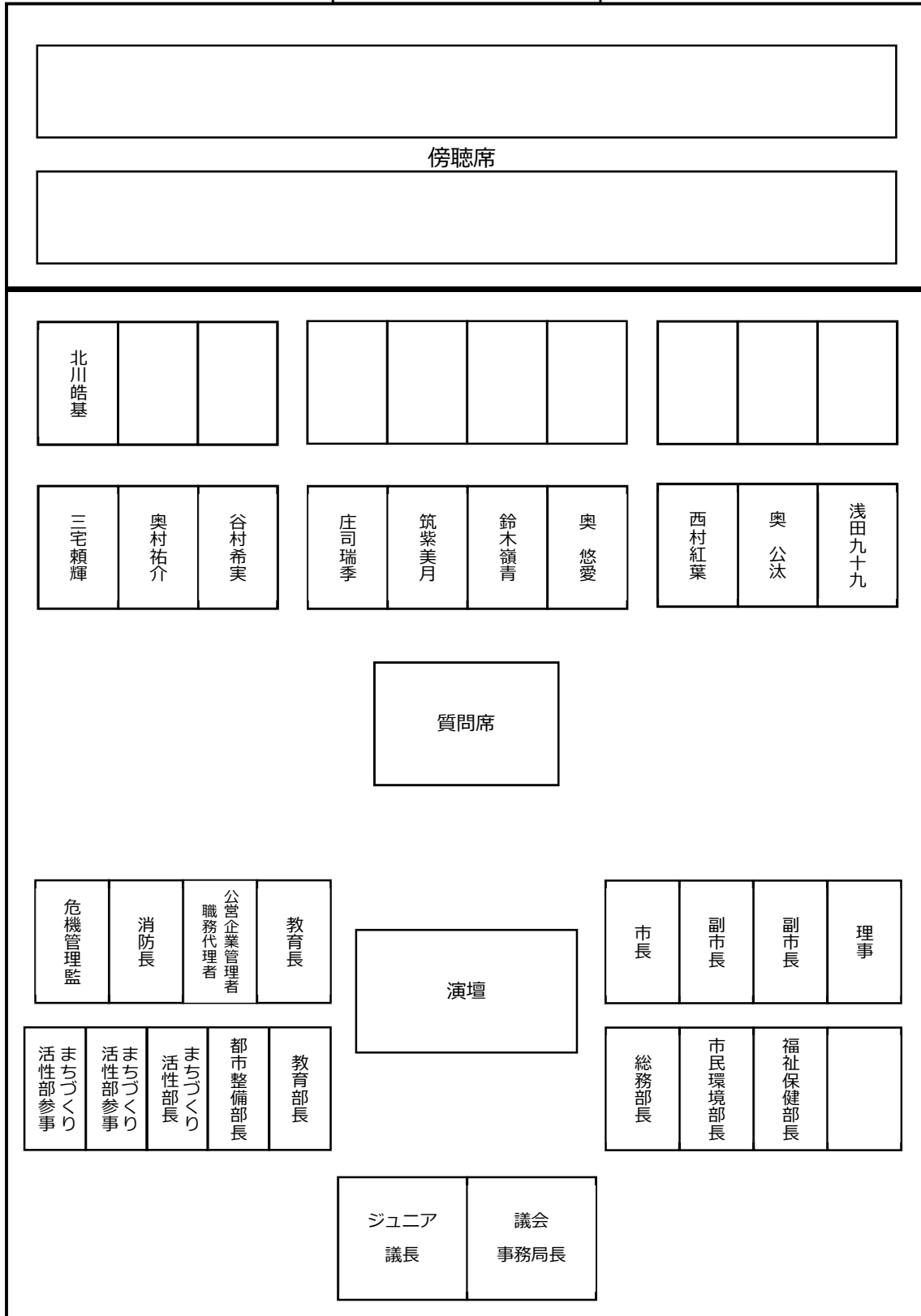
これからも暑い日がまだまだ続きますけれども、健康に十二分にご留意いただき、残りの夏休みを有効に過ごしていただきますようよろしくお願いしまして私のあいさつと代えさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。

14 参考資料

席次表

傍聴席出入口



Ⅲ 事前学習会

日時：平成 29 年 7 月 8 日（土）午前 9 時～正午

場所：市役所 4 階第 2 会議室他

項目	内容
任命書の交付	市長から城陽市ジュニア議会の議員として 11 名に任命書を交付
市長あいさつ	市長から激励のあいさつ
城陽市のまちづくりについて説明	事務局から城陽市のまちづくりについて説明
ジュニア議会の説明	事務局からジュニア議会の趣旨等説明
議長等の役割決定	議長、副議長を決定
質問書づくり	一般質問の質問書づくり
議席の決定	本会議に向けた議席の決定
市議会の説明	事務局から本会議場で、市議会について説明



市長から任命書を交付



質問書づくり



IV 感想文

ジュニア議会の感想文

三宅頼輝（古川小学校 6年）



ぼくは、ジュニア議会で公園のボールの遊びや遊具についたり質問を聞きましたが、城陽市にはボール遊びや広いスペースの公園が約二百けんあるという事を聞き城陽市にはまだぼくが見た事のないような公園があるんだと思いました。

さらに、ぼくの家近くにある公園がもし危険すぎたりスペースがせまいのなら地域の人たちとそうだんをしたり公園のせきにん者などにそうだんすれば公園のルールをかえたりする事はかのうなんだということがわかった。

そして、このジュニア議会に参加して自分が質問した事やほかの人が質問した事をいかにして城陽市がもっと明るくなるようちょっとした事でもきをつけたり工夫したりしたいと思いました。

ジュニア議会の順番は一番目ですごくきんちょうしたけどすごく勉強になりました。

ジュニア議会に参加して

奥村祐介（寺田南小学校 6年）



ぼくは、学校で児童会本部副会長をしたことがありました。その時は全校児童のまえで堂々と話せました。だからジュニア議会でも、堂々と話すことができると思っていました。

しかし本番では堂々と話すことができませんでした。なぜなら市長や教育長などがおられてとてもきん張したからです。ぼくは、かみそうになりながらも城陽市にキャンプ場は作るのかと聞いて、市長から作ると聞けて、やっと家の近くでキャンプができると思い、うれしかったです。

また、古川小学校の三宅頼輝君が言っていた、「公園のボール遊び禁止ルールについて」はとても共感できたし、良い意見だなと思いました。

今回のジュニア会議に参加して学べたことをこれからの生活に役立てていけたらなと思いました。

ジュニア議会

谷村希実（青谷小学校 6年）



私は、ジュニア議会に参加して、質問を考えたり、実際にふだんは入れない議場で質問をして、しっかりとした答えを聞いて、納得できました。市長から答えを聞いて、ここはこんな風になっている、など聞きたかったことの答えがしっかり返ってきて、とてもうれしかったです。貴重な体験ができて、今後の学校の授業で活かしたいと思いました。事前学習会で質問が完成して、本番までに夜おそくに、一人で読む練習をしていました。八月五日、議場に入って質問を言って、答えが返ってくると考えると、とてもきんちょうしました。でも、自分の番になるときんちょうが消えて、家で練習していた時と同じようなペースで言えました。このジュニア議会のような体験はないので参加してよかったなと思いました。

ジュニア議会に出て

庄司瑞季（京都女子大学附属小学校 6年）



ジュニア議会の当日私は、緊張していました。一回目の休憩のとき私は、ずっと、質問文を間違えないか、ゆっくり言えるのかと不安で仕方ありませんでした。

私の番が来て、私の質問に市長さんが答えてくれました。市長さんが、私の質問の高齢者が情報収集に困らないようにスマートフォンや携帯電話の講習会について、「高齢者の方がお集まりになられる機会をとられて『安心・安全メール』の登録や災害情報を携帯電話で知るための方法等を積極的に伝えてまいります。」

とおっしゃったのを聞いて講習会を開催してもらえると、とてもうれしかったです。

今回ジュニア議会の議員に選ばれて良い経験ができました。

最後にジュニア議会のために準備してくださった市役所のみなさま、そして質問に答えくださって奥田市長本当にありがとうございました。

ジュニア議会を終えて

筑紫美月（久津川小学校 6年）



私は、城陽市で生まれ育って、とてもいいところだと思っています。その城陽市にこれからもずっと住みたいと思っています。クラスみんなや学校のみんな、城陽市に住んでいるみんなが、私と同じように思ってくれているといいなあと思っています。ジュニア議会に参加して、城陽市のことを考えている人がたくさんいるんだなあと感じました。また、友達も出来ました。みんなのいろいろな思いや考えを聞くことが出来ました。とても良い経験をさせていただいて、ありがとうございました。

もし、次回におなじような機会があれば、是非参加したいですし、高校生と議員さんがしたような、グループ討議もお願いしたいです。

最後に正直な感想として、市長や教育長はもっと怖い人だと思っていましたが、意外と優しい人だったので、驚きました。

鈴木嶺青（深谷小学校 6年）



今回、ジュニア議会に参加して、とても楽しかったです。なぜなら、城陽市について今まで知らなかったことがたくさん知れたからです。

例えば、東部丘陵地整備の推進を、今城陽市が行っていることです。長池地区でアウトレットモールの開発計画が進んでいるのは知っていましたが、数haもの土地を整備していることを知り、城陽市は今、新しいまちづくりに向けて大きく前進しているのだなと思いました。

また、ぼくの質問であった再生可能エネルギーを利用した発電の推進についても、高速道路の近くの山の斜面にソーラーパネルを取りつける計画があることや、家にソーラーパネルを取りつけることを推進していることなどを知ることができ、よかったです。

またこのような機会があればうれしいです。

ジュニア議会

奥 悠愛（今池小学校 6年）



ジュニア議会を終えて、とてもすっきりしました。

最初、始まったときはとても緊張していましたが、でもだんだんときんちょうがとれてきて、質問をするときには、ちゃんといえていたので良かったです。それに自然について、観光地について、よく知れて、今後についてもしれて良かったです。最後のお礼では、市役所のみなさんたちに、ちゃんと気持ちがとどいたと思います。

ふだんは入ることのできない議場での貴重な経験ができて良かったです。私もこれからの城陽市をよりよくしていきたいと思います。

西村紅葉（久世小学校 6年）



私はえらばれた時に、「もっといい人はいるのにどうして私なのかな。」と思いました。

私の性格はギリギリまで何もやらないので、本当にうまくいくか心配でした。しかし、しっかりとした質問を大人の方々と考えられたのであとはうまく発表するだけだと思いました。

本番の日、私は学校代表で一人えらばれたのだ、と思うとやはり緊張しましたが、みんなでしゃべっている間に飛んでいきました。

私の発表のときとても足がふるえて、こわかったけど、ギリギリセーフでやりきったと思います。会えるかわからないけど、新しい友達もできて良かったです。

ジュニア議会の感想

奥 公汰（寺田西小学校 6年）



8月5日のジュニア議会のために時間を開けてくれて、ありがとうございました。

そして、ジュニア議会のために、質問の答えを考えてくださいありがとうございました。

ジュニア議会での感想は、僕の考えた質問を見たり、聞いてくれた事がうれしかったです。

そして、交通事故ですが、「歩道を広くすることで事故を少なくする。」という考えは、ぼくは、ぜったいに交通事故が少なく

なると思います。

子ども議員をして

浅田九十九（富野小学校 6年）



ふだん行くことの出来ない議場に入れてそこで自分の意見を聞いてもらえるというとてもきょうな体験をさせていただきありがとうございます。

市民プールを五里五里の丘に建てたらいいという提案に対して「府に聞いてみる」言ってもらったときうれしかったし、ぜひおねがいしたいです。一日楽しかったです。

ありがとうございました。

議長のプレッシャー

北川皓基（寺田小学校 6年）



よき天気の日にはジュニア会議がありました。ぼくはジュニア議長になりました。議長は議場の一番上、議長席という席をすわるのでものすごくきんちょうしました。練習よりもきんちょう感がかかりました。自分のお母さん、お父さん、いろいろな人たちもいてもっときんちょうしました。

自分のせりふをいうときはきんちょうで、ことばが早くなったりしました。ですが、自分てきにはできたと思いました。こういうかいをいただいているいろいろ勉強になったと思いました。

市制施行 45 周年記念事業

城陽市ジュニア議会報告書

平成 29 年(2017 年)12 月

編集発行 城陽市 秘書広報課

京都府城陽市寺田東ノ口 16 番地、17 番地

電話 0774-56-4051